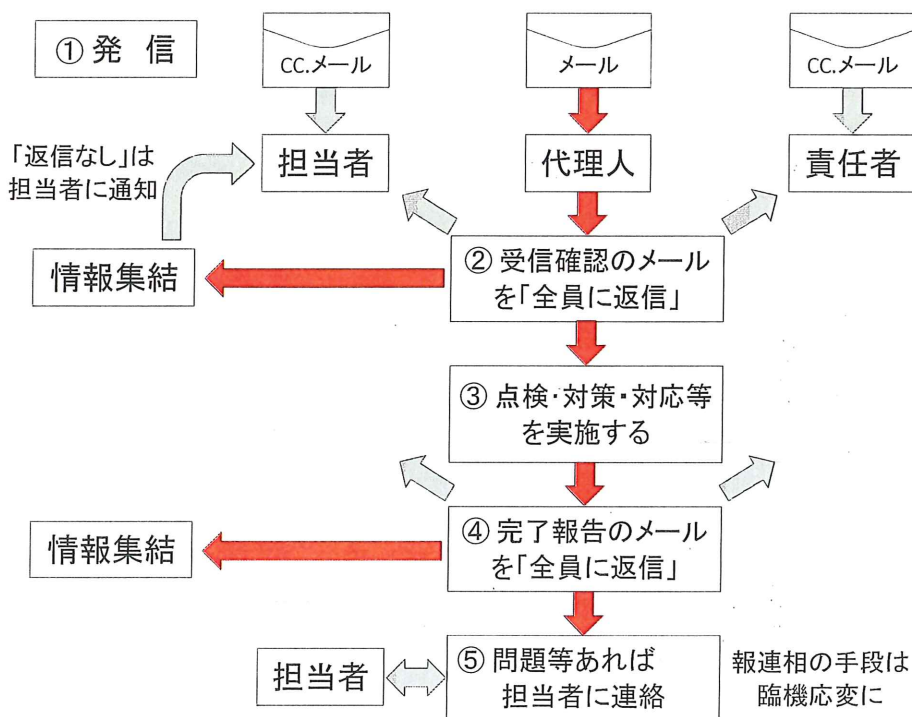


緊急時連絡メールのアドレス調査

昨今の異常気象による強風や集中豪雨の発生、台風・地震災害などに備えるため、横浜市建築保全公社では『緊急時連絡メール』の運用を開始いたします。この趣旨は現場代理人の皆さんに荒天の情報を速やかに提供し万全の対策を講じていただくこと、また事後に被害の有無および対応の情報を集中管理することを目的としております。

メールの運用方法は以下のとおりです。多くの現場を集中管理するため、現場代理人は「全員に返信」の作業を必ず行ってください。

- ① 公社は現場の足場有無や漏水の可能性等を考慮し、工事中の現場をリストアップしてそれぞれの現場代理人・工事責任者および公社担当者宛にメールを送信します。
- ② 現場代理人はメールを受信し次第、受け取ったことを報告するために「全員に返信」を直ちに行ってください。特に必要がなければタイトルや本文はそのままです。
- ③ メールの内容は主に事前の情報提供と事後の被害状況確認の二通りですが、点検や対策・対応など臨機応変に行動してください。
- ④ 現場代理人は完了報告のメールを「全員に返信」で送信してください。



つきましては現場代理人および現場責任者のメールアドレスを決めて、公社担当者宛に届けてください。現場責任者は原則として現場代理人の上長とします。

各メールの送り先は会社のアドレスでも個人のアドレスでも結構ですが、最も早く確実に受信できるものとしてください。ただしショートメールは登録できませんのでご注意願います。

・ eメールには4種類あり、緊急時連絡メールの宛先にSMSは使用できません。

- (1) POPメール：一般のメール（例：kousya-XXXXXXX@bz04.plala.or.jp）
- (2) WEBメール：GoogleやYahooが提供する無料のメール（例：XXXXXXX@gmail.com）
- (3) キャリアメール：携帯電話の有料メール（例：XXXXXXX@docomo.ne.jp）

NG (4) ショートメール：（SMS）相手の電話番号で送信するメール（例：09012345678）

施設名： _____ 工事名： _____
会社名： _____
現場代理人 氏名： _____ アドレス： _____
工事責任者 氏名： _____ アドレス： _____